

初任者としての1年を振り返って

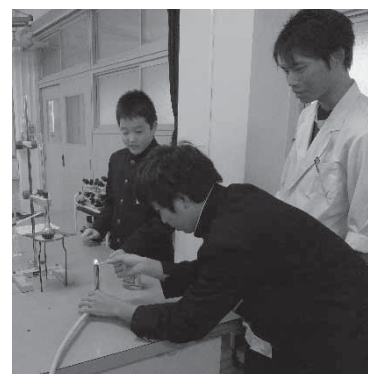
秩父市立秩父第二中学校 教諭 松澤拓比古

4月、不安と緊張が入り交じりながらも、新たな1年の始まりをととてもワクワクし、期待で胸がいっぱいになっていたのを今でも覚えています。入学式、私は1学年の担任として新入生を迎え入れました。どの生徒も、私と同じように不安な気持ちや緊張している様子が見られながらも、中学校生活の始まりに目を輝かせていました。そんな生徒の様子を見て、「この子たちと共に過ごし、成長し、楽しく充実した学校生活を送ろう」と強く思いました。



学級を経営するにあたっては、学校での生活のしかたや友人関係など、さまざまな問題が教室の中で起こり、「どうやったらうまくいくだろうか」と、悩む日々が続きました。自分の中では正しい対応をしたつもりが、生徒に不安や不信感を与え、生徒との間に溝ができてしまったと感じるときもありました。そんなとき、先輩の先生方は真摯に私の話を受け止め、たくさんのアドバイスをしていただきました。教えていただいたアプローチの方法を取り組み、問題が起きた生徒とも、笑顔で会話ができるようになりました。私たち教師がよりよい学級経営を考えていくことはもちろんのこと、生徒一人一人の考えを取り入れ、尊重することの大切さを学ぶことができました。また、学級担任一人でクラスを経営するのではなく、学校全体でそれぞれのクラスをつくっていくという、教員のつながりの暖かさをとても感じることができました。

教科指導では「身のまわりの不思議を体感し、解決する授業づくり」をテーマに取り組んできました。私が担当する理科の一番の強みは、生徒が実際に取り組む実験があることだと思います。また、指導する内容も、普段身のまわりで起こっている現象が題材となっています。そのため、教科書に載っている実験はすべて行い、生徒たちが実際に体験しながら学習できる授業をつくっていきたいと思って取り組んできました。しかし、初任者研修で講演された先生や先輩の先生方の話を聞き、ただ教科書通りの授業・実験をするのではなく、自分の持ち味を生かしながら、生徒が興味・関心を持てる授業をつくっていく必要があると強く感じました。教えていただいた実験方法や、教材をつくり、生徒自ら課題を考え、解決できる授業をしていきたいと思えます。



初任者として過ごしたこの1年は本当にあっという間でした。こうして1年の終わりを迎えられるのは、同じ職場の先生方、初任者研修で出会った先生方、そして子供たちの元気と明るい笑顔があったからだと思います。人のつながりを大切に、常に学び続ける姿勢を忘れずに、子供たちが安心・安全で楽しく生活できる学校づくりができるよう、取り組んでいきたいと思えます。

初任者としての1年を振り返って

秩父市立尾田蒔中学校 教諭 奥平夕稀

1 はじめに

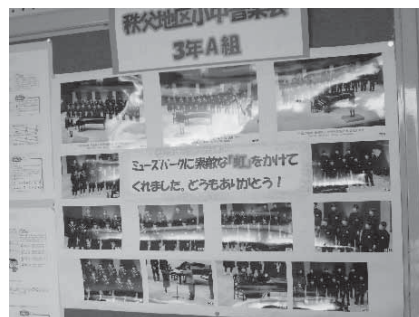
今年度、初任者としての1年間を振り返ると、たくさんの学びがあった。初任者研修を通して、教師としてのあり方や、生徒が主体的に取り組む授業づくりなどについてご指導をいただき、自分自身の考えを深めることができた。

2 教科指導及び教員生活について

4月、1学期始業式の全校の歌唱指導に始まり、1年間生徒が音楽のよさや楽しさを実感し、主体的に音楽活動に取り組む授業を目指してきた。また、生徒が思わず歌いたくなるような、音楽って楽しそうだなと思えるような明るい雰囲気づくりが重要だと考え、掲示物の充実にも力を入れた。来年度以降は特に授業



の導入に力をいれ、生徒たちが興味関心をもち、音楽の表現活動や鑑賞が楽しいと感じられるような実践をしていきたい。また、楽しい活動の中にも、しっかりと授業規律のある音楽の授業を展開していきたい。



さらに、今年度は副担任という立場で修学旅行や体育祭、文化祭などの学校行事に関わらせていただいた。生徒を動かすためには、事前の準備と指導が必要であることを実感した。

また、日々生徒と一緒に活動する中で、生徒の考えや悩んでいることなど、生徒から学ぶこともあった。この学びをしっかりと来年度以降につなげられるようにしていきたい。

まだまだ要領をつかめず、失敗してしまうことも多いが、たくさんの挑戦する機会を与えていただけたことは本当に周りの先生方のおかげであると、感謝の気持ちでいっぱいである。

3 おわりに

初任者としての1年間はあっという間だったが、多くのことを学ぶことができた。何もわからないまま始まった教員生活も、様々な場面で先生方に助けていただいたからこそ、今こうして充実したものになっているのだと思う。

これからの教員生活のなかで悩むこともあると思うが、失敗を恐れることなくこの1年間で学んだことを生かして、前向きに取り組んでいこうと思う。そして生徒や先生方、これから出会う多くの人との関わりを大切にしながら、音楽のよさや楽しさを伝えることができる魅力ある教員になれるよう頑張っていきたい。

初任者としての1年を振り返って ～挑戦できる環境に感謝～

秩父市立影森中学校 教諭 坂本裕樹

1 はじめに

「挑戦」。4月1日に決めた今年度のテーマである。失敗を恐れず、新しいことにチャレンジしていく。そんな1年にしようと決意した。

2 「国語」への挑戦

「国語は格闘技、大脳に汗をかけ！」

私の尊敬する高校教師の言葉である。この言葉の通り、汗をかくくらいじっくりと考え、答えを出さなければ国語力はつかない。そこで、本校の研修テーマである「考え、話し合い、学び合う学習」と関わらせ、生徒主体の授業を実践した。難しいテーマではあったが、失敗を恐れず、挑戦することができた。思考ツールを用いて考えさせ、授業形態を工夫しながら授業を展開した。その結果、1年を通して国語を楽しく学ばせることができ、国語好きの生徒を増やすことができた。しかし、もちろん課題の方が多し。特に、コミュニケーション能力の育成という点で課題が残った。次年度以降はコミュニケーション能力の育成に焦点をあて、さらなる挑戦を行っていこうと考えている。



3 「生徒」への挑戦

教師は生徒に挑み、生徒から挑まれる存在でなくてはならないと私は考えている。どのように授業で勝負するか、どう関われば生徒の心は変わるのか。それらのことを常に考えながら生活を送ることによって、自分も生徒も成長することができるのではないだろうか。今年度は生徒に挑むことが多かった。今後は生徒から尊敬され、挑まれる教師になりたいと感じた1年であった。

4 「部活」への挑戦

今年度担当した部活動は女子テニス部。私は野球一筋で生きてきたため、全くの別世界であった。それでも、生徒とともに汗を流すことで徐々に指導をしていけるようになった。なかなか思うような結果を残すことはできなかったが、豊かな人間性を育てることはできたのではないかと感じている。これからも豊かな人間性をもった生徒を育てるために全力を尽くしていきたい。

5 おわりに

私がさまざまなことに挑戦できたのは、環境のおかげである。先輩教師、生徒、保護者、地域の方々など、様々な面からの協力がなければ成長することはできなかった。これからも、周りの環境に助けられているということを一時も忘れず、挑戦し続ける教師であらうと思う。

初任者としての1年を振り返って

秩父市立荒川中学校 教諭 佐藤千華

1 担任としての責任

(1) 新しい環境

昨年の4月に初任者として荒川中学校に着任し、初任者としての1年を過ごすこととなった。身の回りの環境も変わり、何をしたいのか、何をすべきなのかがわからず、不安が増す一方であった。そんな私を明るく暖かく出迎えてくれたのは、荒川中学校の先生方と、笑顔のまぶしい生徒たちであった。校長先生をはじめとする先生方は、何もわからない私に、丁寧かつ親切に、教師としての心構えや仕事を教えてくれた。新しいことの連続であった私にとって、優しく指導してくださった感謝は忘れられない。

(2) 学級経営

1年生の担任を受け持つことになり、不安と緊張でいっぱいであった。学級経営と一言と言っても、私にとってそれはとても高い壁だった。30名の生徒たちを、どのように指導していくのか、毎日毎日不安であった。しかし、学年の先生方によってその不安はすぐに解消した。困った私に優しく手をさしのべ、いろいろなアドバイスをしてくれた。学年の先生方の協力はとても力強く、いつも支えてもらった。そして、そのような力強いバックアップのもと、1年生との生活を円滑に送ることができた。生徒一人一人の成長が感じられ、体育祭や文化祭などの行事では、1年生の大きな力に驚き、感動し、とても貴重な体験をすることができた。



2 教科指導の充実

初任者研修の際に、「教師は授業で勝負する」ということを知り、生徒指導はもちろんだが、まず第一に教科指導あつての教師であることを学んだ。教科研修の時は、積極的に学ぼうと強く思い、吸収できる内容や活動はどんどん自分の武器にしようと意欲的に取り組んだ。先生方の授業を拝見させていただいたり、同期の先生方にいい刺激をもらったり、とても勉強になった。授業では、これらをいかし、生徒の興味関心を高める授業を心がけている。また、いろいろな指導法を模索することができた。迷いや不安はもちろんあるが、生徒のためにできることは貪欲に取り組んでいきたいと思う。

3 荒川中学校というチームの一員として

初任者としての1年は、初任者研修でお世話になった先生方に加え、本校の先生方にも大変お世話になった。わからないことを丁寧に教えていただいたり、悩みを親身になって相談に乗っていただいたり、感謝の気持ちでいっぱいである。そして、このような環境で、手本となる先生方がいることや初任者としての1年を過ごせたことに、心から感謝している。教員間のコミュニケーションも活発であり、学校行事などを通して、いつも勉強になることばかりであった。

まだまだ教師として未熟で、不安なことも多い私であるが、本校の先生方のような、生徒を第一に思い、教科指導や生徒指導にも熱心である、情熱的な教師になりたいと思う。

平成26年度 秩父市学校創造スーパープラン

- <基本理念>
- <基本目標>

笑顔とあいさつ 思いやりと感動 志高き 秩父大好き人間の育成
 未来の秩父を担う人材の育成と特色ある元気な学校づくりの推進
 ○知・徳・体・コミュニケーションの調和のとれた児童・生徒の育成

秩父市教育委員会

【〒368-0023】秩父市大宮794番地6
<http://www.city.chichibu.lg.jp/menu/1898.html>

目標 I 確かな学力と自立する力の育成

重点目標

- 基礎学力の向上
- 各種学習状況調査の活用
- 個々の能力を伸ばす教育の推進
- 家庭の教育力の向上

主な取組内容

- (1)わかりやすい授業の実施**
 - ◇ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境の整備と授業の実践
 - ◇校内研修の充実
 - ◇指導方法の工夫・改善
 - ◇学習課題を明確にした授業
 - ◇少数指導等のきめ細かな指導
 - ◇学習形態を工夫した授業
- (2)学力向上対策事業の推進**
 - ◇学力向上先進県先遣校視察の実施
 - ◇チャレンジスクール事業の推進
 - ◇学力向上チャレンジスクール
 - ◇小学生と高校生のふれあい体験
 - ◇理科おもしろ実験教室
 - ◇中学生フットボール・スケール
 - ◇中学生英語パワーアップ講座
- (3)各種学習状況調査の分析と活用**
 - ◇全国学力・学習状況調査の検証
 - ◇目標値：県平均値を上回る学校数(100%)
- (4)各種検定等への積極的な参加**
 - ◇小・中連携による小・中学生の受検機会の増加
- (5)家庭学習・読書活動の習慣化**
 - ◇目標設定による家庭学習時間の増加
 - ◇目標設定による読書量の増加

目標 II 豊かな人間性と健やかな体の育成

重点目標

- 生徒指導の充実
- 道徳教育・人権教育の推進
- 健康と体力の向上
- 特別支援教育の充実

主な取組内容

- (1)いじめ・不登校対策の充実**
 - ◇積極的な生徒指導の推進
 - ◇ライフスキル教育の実践
 - ◇自己指導能力・コミュニケーション能力の育成
 - ◇関係諸機関との連携の強化
- (2)道徳教育・人権教育の推進の充実**
 - ◇地域の教育資源を活用した授業の推進
 - ◇「彩の国の道徳」の積極的な活用
 - ◇人権感覚プログラムの活用
- (3)豊かな心を育む教育の推進**
 - ◇目標設定による読書活動の推進
 - ◇新体力テストの分析と活用
 - ◇「学習規律を確立させ、力いっぱい運動し、思いっきり汗をかく体育授業」の実践
 - ◇「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進
- (4)体力の向上と学校体育活動の推進**
 - ◇新体力テストの分析と活用
 - ◇「学習規律を確立させ、力いっぱい運動し、思いっきり汗をかく体育授業」の実践
 - ◇「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進
- (5)教育相談体制の充実**
 - ◇さわやか相談員の資質の向上
 - ◇さわやか相談員研修会の開催
 - ◇スクールソーシャルワーカーの配置と活用
 - ◇臨床心理士の配置、ひまわり教室の活用
- (6)特別支援教育の推進**
 - ◇就学支援体制の強化・特別支援学校との連携
 - ◇特別支援学級・通級指導教室の充実
 - ◇特別支援教育補助員の配置

目標 III 秩父ならではの特色ある教育活動の推進

重点目標

- 秩父のよさを実感できる体験活動の推進
- 伝統芸能・文化の継承と人材育成
- 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進
- 学童保育室・ふれあい学校の充実

主な取組内容

- (1)体験活動の重視**
 - ◇心に響く歌声のある学校
 - ◇体験的な学校行事の推進
 - ◇伝統芸能継承活動の取組
 - ◇中学生社会体験チャレンジ事業の推進
- (2)秩父の魅力発見・体験事業の推進**
 - ◇ジオパークを活用した体験学習への支援
- (3)秩父大好き人間育成事業の推進**
 - ◇子どもたちが学生等の称号授与
 - ・子どもたちが「秀才・博士
 - ・子どもたちが「秀才・博士
 - ・子どもが「秀才・博士
 - ・子どもが「秀才・博士
- (4)へき地・小規模校のよさを生かした教育の推進**
 - ◇小規模・複式学級の指導方法の研究
 - ◇複式学級解消非常勤教諭の配置
- (5)学校補助員の配置**
 - ◇学校補助員の資質の向上
 - ◇学校補助員研修会の開催
- (6)学童保育室とふれあい学校の充実**
 - ◇学童保育指導員の資質の向上
 - ◇学童保育指導員研修会の開催

目標 IV 質の高い学校教育の推進

重点目標

- 教職員の資質向上
- 危機管理体制の強化
- 子どもたちの安心・安全の確保
- 学習環境の整備・充実

主な取組内容

- (1)各種研修会の実施**
 - ◇若手教員育成のための「秩父師範塾」の開催
 - ◇小学校の先生が基礎を学ぶ理科講座の実施
 - ◇小学校外国語活動研修会の実施
 - ◇市・県等の委嘱による研修の充実
 - ◇要請訪問等による授業研究会の充実
- (2)安心・安全な学校給食**
 - ◇食材の放射能測定器による測定、結果の公表
 - ◇アレルギー対策の強化
 - ◇(エビベン・AED講習会の開催)
- (3)安心・安全な学校環境の整備**
 - ◇教育施設の改修・改築(26年度耐震化完了)
 - ◇国際認証取得を目指したセーフスクールの推進
 - ◇「すくめーる」を活用したセーフティネットの充実
 - ◇自転車通学者へのヘルメットの貸与
 - ◇地域と連携した見守り活動の推進
 - ◇(スクールガード・学校応援団等)
 - ◇主体的に行動できる防災教育の推進
- (4)学校図書館の整備・活用**
 - ◇学校図書館司書教諭補助員の配置
 - ◇(学校図書館司書教諭補助員研修会の開催)
 - ◇図書室の環境整備とバーコードによる図書管理
 - ◇市立図書館との連携

<各種推進委員会>
 <研究指定校等>

○いじめ・不登校対策推進委員会 ○特別支援教育推進委員会 ○体力向上推進委員会 ○学力向上推進委員会
 ○セーフスクール推進校(花の木小・南小・秩父第二中) □地域に応じた学力向上推進事業(西小) □「いじめ防止のための望ましい人間関係づくり」研究推進校(尾田時中)
 □体力課題解決研究指定校(高篠小) □明るく安心して学べる学校づくり協力校(秩父第二中) □考え、話し合い、学び合う学習推進事業(影森小・影森中)

編 集 後 記

平成26年度の「秩父教育」では、「確かな学力」や「豊かな心」、「体力」の向上・育成に取り組む幼稚園、各学校の校内研修の様子を掲載いたしました。

知・徳・体のバランスのとれた育成が強く求められている昨今、各園、各学校における取組内容は、目標やテーマを明確にした上で、教育実践の中で研究されたものとなっております。一つ一つの記事が各園、各学校及び教職員にとって、参考となるものばかりです。是非、他園・他校の実践等にも学び、秩父教育の推進のためにお役立ていただきたいと思います。

そして、教員として一年目をスタートした初任者の素直な感想からは、児童生徒と向き合い、児童生徒の理解に努めるとともに、教師としての指導力を高めていきたいという思いが伝わってきます。今後も初心を忘れることなく、学び続ける向上心を持ってほしいと思います。

終わりに、本号の編集に際し、ご多用中にもかかわらず原稿執筆にご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

秩父教育 第142号

発行日 平成27年3月31日
発行者 秩父市教育研究所
〒368-0023
埼玉県秩父市大宮794-6
電話 0494(22)2446
FAX 0494(22)2507
印刷所 萩原印刷